

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	放課後等の支援活動事業		所管課 【2】	生涯学習課
			評価者(担当者)	鷺森 豊満
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(2)社会教育の充実		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(2)社会教育の推進		
<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域				
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】			
	<input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 】			
<input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし				
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業			
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【			款 10 項 5 目 1 細目 8

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	小学校低学年の児童が放課後の時間を活用した様々な体験や地域との交流活動を通じて、豊かな人間性を育む場の提供が必要である。また、地域コミュニティの活性化のために、地域と子どもの交流や学びあい活動を行う必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	市内小学校の小学1年生及び2年生の児童
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	小学校の空き教室を利用した安心・安全な活動拠点を確保し、地域の大人が見守りを行うなかで地域との交流や学びあい場を設ける。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H19 年度から】 【 年度～ 年度まで】											
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【											
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【											
事務事業の具体的内容 【14】	小学校や地域に事業実施を呼びかけて、実施校区を決定し地域住民がコーディネーター、学習アドバイザー、安全管理人を務め、放課後児童の活動拠点としての支援活動を行う。											
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">事務事業を構成する細事業 【15】</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td>放課後子ども教室推進事業</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td></td> </tr> </table>	事務事業を構成する細事業 【15】		①	放課後子ども教室推進事業	②		③		④		⑤
事務事業を構成する細事業 【15】												
①	放課後子ども教室推進事業											
②												
③												
④												
⑤												

## 《事務事業実施に係るコスト》

			H25年度決算	H26年度決算	H27年度決算	H28年度予算	全体計画
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金					
		県支出金	66 %	566	534	532	532
		起債	%				
		受益者負担					
		その他					
		一般財源		286	267	305	305
	【16】 小 計		852	801	837	837	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)			0	0	0	0
	職人 員 の 費	職員人工数		0.35	0.35	0.31	0.31
		職員の年間平均給与額(千円)		5,424	5,761	5,761	5,761
【17】 小 計			1,898	2,016	1,786	1,786	
合 計			2,750	2,817	2,623	2,623	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画
① 放課後子ども教室推進事業	小学校の空き教室で放課後に地域住民により体験学習を実施する。	放課後子ども教室実施校数	校	3	3	3	3
②							
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H25目標	H26目標	H27目標	H28目標
			H25実績	H26実績	H27実績	H28実績
1 放課後子ども教室賛同率	アンケート調査による保護者・児童・地域住民の賛同割合	%	100	100	100	90
			95	95	96	
2 放課後子ども教室参加児童数	教室に参加した児童の人数	人	60	100	100	60
			58	66	49	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】 市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	家庭や家族の生活環境が大きく変わってきている中、放課後の時間をどのように活用できるのか大きな課題である。放課後の低学年児童の安全・安心な時間と場所を確保することは大切なことである。
	目的の妥当性【21】 税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】 事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】 成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	現在開催している学校の現状維持を目指し、学校・保護者・地域住民へ興味を持ってもらえるよう、ホームページおよび広報紙を活用した周知と協力者の確保について積極的に行った。目標には届かなかったが子ども、親からの賛同は得ている。
	成果向上の余地【24】 成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】 上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】 コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】 民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】 事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】 類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】 受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	家庭環境や社会情勢など刻々と変化する社会において、地域コミュニティは低下の傾向にあるため、放課後の時間を活用した地域と児童の交流によって地域コミュニティの向上を図ることが必要不可欠である。そのため、現在実施している学校においては今後も継続していくことを目標とし、スタッフ、地元ボランティア、学校との連携が円滑になるよう相互の意見交換に努めるとともに協力者の確保に取り組む。
昨年からの見直し・改善状況【32】	今年も閉講式にアンケートを取り、参加者の感想や地元の協力者からさまざまな提案や問題や意見を伺いよりよい取組になるよう心掛けた。コーディネーター、地元協力者、学校との連携がスムーズにいくよう間に入り努めた。

■ 評価責任者記入欄 ■

評価責任者(課長)の所見【33】	スタッフ、地元ボランティア、学校の方々の協力を得ること、連携を保つことに苦慮しながらではあるが、子どもたちにとって体験・交流活動を行うことで笑顔と楽しむ姿、健やかに育まれる環境づくりが構築される。今後も放課後等の支援活動事業を推進する。	評価責任者 板倉 英一
------------------	--	----------------